



## プレスリリース

### PPG、未処理ポリプロピレン素材向け真空成形用 1K 水性接着剤を新発売

ミシガン州トロイ市(12月2日) / PRNewswire

フォーチュン 100 社の 1 つで、化学品、塗料、ガラス、ガラス繊維やその他数々の製品を製造するピーピージー・インダストリーズが、本日、コラボンド (Corabond) シリーズの新製品を発表した。コラボンドは、未処理ポリプロピレン素材に使用する水性の一液型加熱活性化接着剤である。

この水性接着剤の新製品は、自動車 OEM メーカーの真空成形機や補修用内装部品市場を主なターゲットとし、時間の節約やコスト削減といった製造上のメリットをユーザーにもたらし、揮発性有機化合物や有害大気汚染物質に関する現行の規制内容との適合性も改善されている。コラボンドには、スプレー式のコラボンド LSE とロールオン式のコラボンド RCA があり、各種生産技術に対応している。

コンソール、インパネ、ドアパネルその他の自動車用内装部品は、一般に、軟質の熱可塑性カバ材を硬質の素材 (ABS やファイバーボードなど) に真空成形することで作られている。

メーカーは、コスト削減とリサイクル可能な材料の利用拡大を図るため、素材にはポリプロピレンのような低コストポリマーの使用を望んでいる。しかし今日一般的に用いられている高性能接着剤技術の多くの場合、これらの素材を何らかの前処理剤やプライマーで処理しておかないと接着効果が得られない。

これに対して、コラボンドの新製品は、プライマー、接着促進剤やその他の表面処理 (火炎処理、コロナ処理など) がなくても、ポリプロピレンのように表面エネルギーの低いポリオレフィン系樹脂と強固に接着する。また一液型的水性接着剤であるため、塗布も簡便で、ポリプロピレン素材に直接スプレーしたり、ポリオレフィンフォームをラミネートしたビニルにローラーで塗布することができる。コラボンドには、すぐれた接着性と工程管理幅の広さも備わっており、この種の用途にとって理想的な製品となっている。

PPG は、1990 年代前半に水性ポリウレタン接着剤を初めて発売して以来、自動車用途の真空成形技術をリードしてきている。ポリプロピレン素材用接着剤の新製品コラボンド LSE とコラボンド RCA は、自動車業界が求める高性能接着剤の新製品を提供する上で、PPG が引き続きリーダーシップをとっていることを証明している。

ピッツバーグに本社を置く PPG は、世界でトップクラスの自動車用塗料メーカーであり、工業用塗料、容器用コーティング剤のグローバルサプライヤーである。また主に北米では建築用塗料のリーディングカンパニーでもある。さらに、PPG は板ガラス、加工ガラス、ガラス繊維（連続ストランド）、化学品も生産している。2003 年の売上高は 88 億米ドル（約 9,680 億円）。

お問い合わせ先:

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-15-1

渋谷クロスタワー13階

PPGジャパン(株)

工業用塗料部

TEL 03-3476-7015

FAX 03-5778-2557

大阪営業所: 06-6376-3161 名古屋営業所: 052-914-6565

E-mail: [sales\\_japan@ppg.com](mailto:sales_japan@ppg.com)

ホームページ: <http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustrialCoatings/Japan>